

2. 小委員会の開催結果と意見対応の方向性

小委員会の開催結果と意見対応の方向性

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

- ① 建設業の魅力を伝えることができていないことは学校側の反省点である。
- ② 業界全体を知ってもらうためには、個々の企業では負担が大きい。協会・行政で行うことが必要。

意見対応の方向性（事務局案）

- ・ 建設業の現状や魅力(※)を発信する新たなツールとして動画を活用していきます。
- ・ 動画は学校・業界・行政の意見を踏まえ作成し、作成した動画は、企業や学校が、建設業界のPRや魅力発信のために使用できるようにしていきます。

今回議論

※ 魅力・やりがいとは・・・
・ ものづくりの楽しさ・達成感
・ 人命と財産を守る仕事
・ 地図に残る大きな仕事 など

担い手の確保

反映する
取組

- 【資料1】 P5 (1) 教育機関・建設業界・行政との連携
1) 学校（進路指導教諭）訪問等
2) 進路教諭と建設企業の交流会
- 【資料1】 P6 (2) 生徒への魅力発信・動機付け
1) 出前授業・現場見学会等の開催
2) 多角的な広報活動

次回議論

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

- ③ 建設業は求人票に「作業員」と記載されるが、「技能職」等言い換えるべき。言葉を見ただけで候補から除外されてしまう。
- ④ 大手企業は高校生の人材確保に力を入れており、高校生向けの採用HPを展開している企業もある。
- ⑤ (建設企業は) 求人票については、業界全体として、時代に合わせた内容に更新していく努力が欠けているが、どのように書けばいいか分からない。
- ⑥ 求人票の書き方など、先生との交流会の中で説明させてもらっても良い。
- ⑦ 中小企業では、採用担当者を人材育成することが難しい。

委員意見

意見対応の方向性 (事務局案)

・建設企業が採用活動（求人票の書き方、魅力あるHPの作り方など）に関して進路指導教諭からの指導を受け、より効果的な採用活動が実施できるように支援します。

今回議論

担い手の確保

反映する
取組

【資料1】 P5 (1) 教育機関・建設業界・行政との連携

3) 採用活動における連携 (新規追加)

次回議論

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

- ⑧ 普通科高校にも積極的に出前授業等を実施してもらっていることは頼もしく感じている。今後も力を入れてやっていただきたい。
- ⑨ 地元企業の協力で建設業との交流会も取り組んでいる。多くの生徒が興味を持つことは難しいが、プラスに働いている。
高校のOBが学校訪問することは効果的である。知っている先輩が入社1～2年目の社員として話をしてくれると生徒の心に刺さる。
- ⑩ 建設業のやりがいを大きく発信する必要がある。

意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

- ・ より多くの生徒に魅力を伝えるため、普通科高校に対し積極的に出前授業・現場見学会等を実施していきます。
- ・ OB訪問の実施、ものづくりの楽しさや技術の習得など建設業のやりがいを発信することで、生徒の心に響く取組の実施を促進します。

担い手の確保

次回議論

反映する
取組

【資料1】 P6 (2) 生徒への魅力発信・動機付け
1) 出前授業・現場見学会等の開催

小委員会の開催結果と意見対応の方向性

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

- ⑫ 建設業は現場の繋開差があり、実施時期によってはインターンシップの実施が適切でない場合がある。現場の掃除しかさせてもらえず、イメージが悪化したケースがある。
- ⑬ 企業見学時に説明者が一生懸命プレゼンしたことに心を打たれ、説明を受けた生徒の進路希望が変わったという話を聞いた。
- ⑭ インターンシップに参加した生徒が、そのままその会社に就職したケースがある。
- ⑮ 高校1年生を対象に、生徒が自らコースを選択して企業見学・体験ができる進路研究を実施している。就職後のイメージ、興味を持ってもらうため数年間継続している。
- ⑯ 高校2年生の選択科目として金曜日（年間16回）に自宅から直接企業に行き、職場体験をするインターンシップを実施している

意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

- ・インターンシップの場を利用した建設業の魅力発信を促進します。
- ・学校のカリキュラムに沿って、生徒の学年に応じた効果的な取組（実施時期、内容の検討）を実施していきます。

次回議論

担い手の確保

反映する
取組

- 【資料1】 P5 (1) 教育機関・建設業界・行政との連携
1) 学校（進路指導教諭）訪問等
- 【資料1】 P6 (2) 生徒への魅力発信・動機付け
1) 出前授業・現場見学会等の開催

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

- ⑰ 高校生向け求人票管理システムアプリ「Handy進路指導室」は保護者も閲覧できるため、効果的なツールとして広がりつつある。
- ⑱ 就職活動や進学活動は、保護者が大きく影響を与えている。ほぼ内定していても親が反対して辞退された事例もある。
- ⑲ 大雪発生時の雪氷対策など建設業への理解が深まってきているが、現在学生を子にもつ親の心を掴めていない。

意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

- ・ 高校生や保護者が多く利用しているアプリ（Handy進路指導室等）を活用し、身近に情報が得られるような効果的な広報活動を促進します。
- ・ 保護者に対して、従来の建設業のイメージから転換できるよう、労働環境の改善の取組など、保護者に響く建設業の魅力発信を実施していきます。

担い手の確保

次回議論

反映する
取組

【資料1】 P6 (2) 生徒への魅力発信・動機付け
2) 多角的な広報活動

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

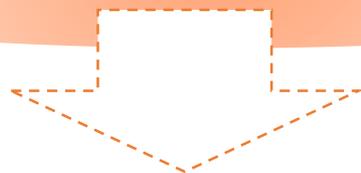
- ⑳ 資格の取得支援について、個人負担をいかに減らすかが人材育成としては大事



意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

- ・工業高校において、在学中から就職後に必要となる資格の取得支援を実施していきます。
- ・企業において、若手従業員のキャリア形成に活かされる資格取得が促されるよう、必要な支援策を実施していきます。



担い手の確保

今回議論

反映する
取組

【資料1】 P5 (2) 生徒への魅力発信・動機付け
3) 資格の取得支援（新規追加）

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

- ⑳ キャリアデザインを明確にして、自分の努力次第で実現できる事項など製造業とは違った魅力を見つけてもらいたい。

意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

- ・ 魅力発信においては、建設企業に他の産業にはない建設業ならではの魅力を聞き取り、発信していきます。
- ・ 建設企業においては、就職後のキャリアデザインを示すことが重要となため、その取組（企業におけるキャリアデザイン作成）が実施できるように支援します。

担い手の確保

反映する
取組

【資料1】 P6 (2) 生徒への魅力発信・動機付け
2) 多角的な広報活動

労働環境の改善

反映する
取組

【資料1】 P11 (4) 適正な利潤の確保・人材育成・福利厚生
3) 福利厚生の充実

次回議論

「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

②② 今の生徒は「給料」「休日」「きれい（勤務形態）」といった新たな3Kを重視しており、求人票でもこの3点は重要な項目である。

意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

- ・採用活動において、生徒のニーズを踏まえ、求人票への記載項目の改善を促進します。
- ・生徒が重要視する内容が実現できる労働環境を整えるため、適正な企業利潤の確保、週休2日、労働時間の削減、安全な職場環境等の実現に対して取組を実施します。

担い手の確保

反映する
取組

- 【資料1】 P5 (1) 教育機関・建設業界・行政との連携
3) 採用活動における連携（新規追加）

労働環境の改善

反映する
取組

- 【資料1】 P8 (1) 週休2日制の定着
1) 4週8休の定着
2) 市町発注工事における週休2日制工事の定着
3) 民間発注工事への周知・促進
- 【資料1】 P10 (3) 安全で快適な労働環境の実現
2) 誰もが快適に働くことができる職場環境の整備
- 【資料1】 P11 (4) 適正な利潤の確保・人材育成・福利厚生
1) 適正な利潤の確保への適切な対応

次回議論



「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

⑳ どんな資格が取得できるか等、将来の仕事が見えて、どのくらいの給与水準かといったことがパンフレットに記載されている企業は先生からの評価が高い。

意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

- ・生徒や先生のニーズを踏まえ、適切な情報を記載したパンフレットの作成を促進します。
- ・生徒に就職後の将来像を示していけるように、企業に対してキャリアパス（役職、経験年数、職務内容、必要とする資格など）の策定を促進します。

担い手の確保

反映する
取組

【資料1】 P5 （1）教育機関・建設業界・行政との連携
3）採用活動における連携（新規追加）

労働環境の改善

反映する
取組

【資料1】 P11 （4）適正な利潤の確保・人材育成・福利厚生
3）福利厚生の充実

次回議論



「担い手確保 小委員会」にて出された意見

委員意見

②④ 若手女性社員にとって、地域の建設業は比較的柔軟な働き方ができるため、自由度の高い職場であると捉えている様に思う。

意見対応の方向性（事務局案）

今回議論

・他の産業にはない建設業ならではの特徴（女性における比較的柔軟な働き方など）を建設企業から聞き取り、建設業の魅力として発信していきます。

担い手の確保

反映する
取組

【資料1】 P6 (2) 生徒への魅力発信・動機付け
1) 出前授業・現場見学会等の開催

次回議論